

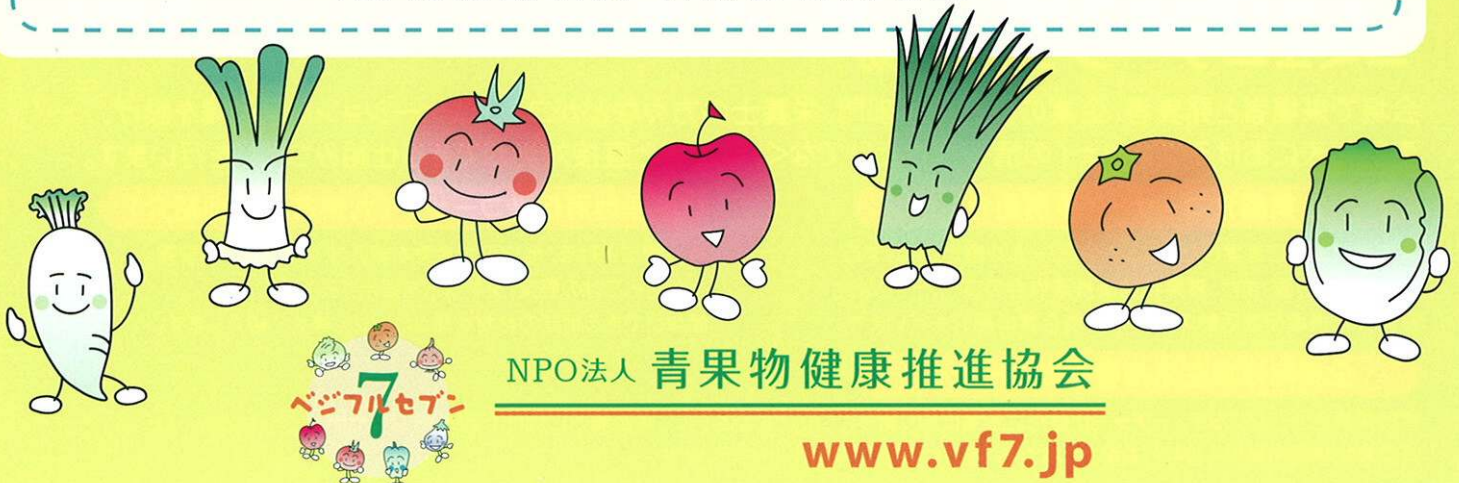
メタボリック対策最前線

～企業が取り組む食生活改善レポート 会社で野菜・果物食べてますか～

平成20年4月からメタボリックシンドロームの早期発見を目的とした「特定健康診査」「特定保健指導」、通称「メタボ健診」が導入されました。成人病や生活習慣病との関連が指摘されているメタボリックシンドロームの予防には、野菜や果物を多く含んだバランスのとれた食生活が不可欠であるといわれています。

本会では、従業員のために野菜や果物の摂取拡大による食生活改善に取り組む企業の事例を紹介し、今後、食生活改善に取り組みたいとお考えの企業に参考にしていただくとともに、地元九州の野菜・果物をご紹介し、地産地消、産地活性化や自給率向上につなげたいと考えております。

1. 日 時 平成21年2月16日(月) 11:00～17:00
2. 会 場 天神イムズ 9F大ホール
(福岡市中央区天神1丁目7番11号)
3. 入 場 料 無料
4. 主 催 野菜等健康食生活協議会
(食生活情報サービスセンター 青果物健康推進協会 ファイブ・ア・デイ協会)
財団法人中央果実基金
5. 後 援 農林水産省 九州厚生局 福岡県 佐賀県 長崎県 宮崎県
(予定) 熊本県 大分県 鹿児島県 沖縄県
6. 開催内容 ① 基調講演 医学博士/米国登録栄養士 林 芙美氏
テーマ『メタボ予防で業績Up!野菜、果物活用のヒント』
② 企業・団体の野菜摂取拡大事業事例発表会
③ シンポジウム テーマ:『メタボリック対策の秘訣は野菜果物の摂取拡大
～産地と流通にできること～』
④ コミュニケーション広場
企業紹介コーナー(事例紹介)/企業向け食生活指導相談コーナー
/地産地消促進コーナー(九州各県産地紹介)
※九州ならではの野菜・果物などを展示。簡単にできる地元食材を使ったレシピ等の紹介
7. 問合せ先 NPO法人青果物健康推進協会
TEL 03-3770-3701 FAX 03-3770-3729



実施内容

食事バランスガイド

～野菜・果物食べていますか～



基調講演

医学博士／米国登録栄養士 林 芙美氏

テーマ『メタボ予防で業績Up!野菜、果物活用のヒント』



林芙美/はやしふみ
医学博士、米国登録管理栄養士。
米国デラウェア大学卒業後、コロンビア大学教育大学院修士課程修了。
東京歯科大学大学院にて博士号(医学)を取得。
日本人では数少ない米国登録栄養士の資格を持つ。
現在は健康・栄養政策に関する研究に従事する一方で、
食・健康に関する講演・執筆等の活動も行う。

事例発表会

従業員のために野菜や果物の摂取拡大による食生活改善に取り組んでいる企業の実例をわかりやすくご紹介します。

発表企業取組み紹介映像

実際に現場で行われている取り組みを映像にて紹介。

さらに、社員食堂で社員や調理関係者にインタビューを実施し、会社の取り組みへの感想や自身が実際に食事をする中で変化を得られた点など、1社5分程度のドキュメンタリー風映像を上映します。

参加型・交流型シンポジウム

テーマ『メタボリック対策の秘訣は野菜果物の摂取拡大 ～産地と流通にできること～』

[パネリスト]

産地代表	外山 正一氏 (宮崎県経済連園芸農産部長)	研究者代表	林 芙美氏 (医学博士／米国登録栄養士)
市場代表	木村 陽二氏 北九州青果 株式会社 (取締役主管 総務部・開発部・営業企画部担当)	研究者代表	杉浦 実氏 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 (果樹研究所 健康機能性研究チーム主任研究員)
納入業者代表	矢野 督二氏 株式会社 福岡エニックスフーズ (取締役 総務・企画室室長)	行政代表	中村 昭之氏 農林水産省 九州農政局 (生産経営流通部 園芸特産課 課長)
実需者代表	大村 勝氏 株式会社 NECライベックス (事業推進部西日本地区マネージャー)	コーディネーター	近藤 卓志氏 NPO法人 青果物健康推進協会 (事務局長)

コミュニケーション広場

会場で来場者と発表者、企業の福利厚生部門、栄養士の方々などがコミュニケーションを図る場を設け、事例発表におけるワンウェイの情報提供だけでなく、参加者と直接対話ができる仕組みづくりを行います。

企業紹介コーナー(事例紹介)

発表者が実際に考案したメニューや、ツールを展示、紹介するコーナーを設置。また、青果物健康推進協会のコーナーでは、野菜果物摂取促進活動の紹介や会員企業の紹介も行います。

地産地消促進コーナー(九州各県産地紹介)

各会場における、地域の特産物を紹介するコーナーを設置。九州ならではの野菜、果物などを展示すると共に、簡単にできる地元の食材を使ったレシピ等をご紹介します。

企業向け食生活指導相談コーナー

管理栄養士やベジフルティーチャーが個別に企業の取り組みについてお話を伺い、活動開始に向けてアドバイスします。野菜果物摂取啓発ツールなども配布しながら、幅広い視点からサポートを行います。